

令和4年度上京区地域保健推進協議会・書面審議の結果報告書

1 議題1「上京区役所保健福祉センター事業について」の審議結果

議題を補強する御意見や御質問を17人の委員のうち10人からいただきました。

御意見に対する見解や御質問への回答は下記の表のとおりです。

いただいた御意見を活用し、御質問も参考にしながら、皆様方とさらに連携・協働を強め、上京区民の健康の保持及び増進に寄与する保健所支所として業務を遂行してまいります。

2 議題2「上京区地域保健推進協議会の部会長・副部会長選出について」の審議結果

17人の委員のうち17人に御承認いただき、議題2は承認されました。

【いただいた御意見に対する見解と御質問への回答】

委員氏名	議題1保健福祉センター事業への御意見	議題2役員選出について	その他の御意見
小林(雅)委員	なし	承認	なし
水谷委員	あり(下記)	承認	あり(下記)
【議題1についての御意見】 コロナ禍にもかかわらず健康事業を施行していただきまして、本当に御苦労様です。			
【議題1の御意見に対する見解】 御意見ありがとうございます。 今後も、保健福祉センターとして、感染予防対策をとりながら事業の実施に努めてまいりますので、皆様の御助言、連携をどうぞよろしくお願いいたします。			
【その他御意見】 感染が収まれば顔の見える関係づくりもまた必要になってきます。 よろしくお願いいたします。			
【その他御意見に対する見解】 御意見ありがとうございます。 地域の保健福祉の推進に向け、関係機関が緊密に連携を行うためには、顔の見える関係づくりは必要不可欠であると考えます。長引くコロナ禍で、顔を合わせる機会が減っている現状ではありますが、今後は、感染状況を注視しつつ、徐々に顔を合わせる機会を作っていけたらと考えていますので、よろしくお願いいたします。			
松尾委員	あり(下記)	承認	なし
【議題1についての御意見】 コロナ禍での事業は集まらないし、高齢者対象のものは特に難しいと思います。このまま落ちついてくれればいいですね。 若い時からの健康教室は「予防を務めるべき」に賛同です。			
【議題1の御意見に対する見解】 御意見ありがとうございます。 御指摘のように、コロナ禍では「(介護保険未利用の高齢者が)地域で集うこと」自体が難しい状況です。 そのため、高齢者の方に直接接するデイサービス等の介護事業者に対して感染症に係る情報を「介護事業所連絡会議」でお伝えし、知識の更新を図りました。このことから令和3年度は教室参加者のうち40~64歳の参加者数が増加しています(2ページ「健康長寿推進課の教室回数と参加			

者推移」参照)。

また「若い世代の予防」については京都市、特に上京区では大学生相当の人口比率が高いため、高校生相当の教育で学んだ「健康に関する知識」が途切れないようにすることが望まれます。今後も若い世代が参加できる健康教室の検討をしてみたいです。

松下委員	なし	承認	なし
小林(央)委員	あり(下記)	承認	なし

【議題1についての御意見】

母子保健福祉事業について

新型コロナウイルス感染症の対応も含め、妊娠期からの切れ目ない支援に努力していただき、ありがとうございます。

以前より拡充を求めています、京都府内の他市でも実施されているように、訪問型産後ケア事業・助産師による訪問が京都市内でも利用できるように御検討をお願いします。

現在実施されている新生児訪問指導事業や家庭訪問型継続的個別支援では乳房ケアは含まれておらず、おっぱいが順調にいけば育児不安も軽減されるケースがあると思います。助産師による乳房ケアも含む訪問型産後ケア事業の拡充をお願いいたします。

【議題1の御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。乳児期の授乳は、子育てにおいてとても大切な要素です。こんにちは赤ちゃん事業の際に保健師・助産師・看護師などが訪問し、授乳についても相談を受けています。その中で、実際の乳房ケアを必要とされる場合には、産院や地域の助産師さんを紹介しており、訪問で対応可能な方もおられます。また、今年度よりスマイルママほっと事業が充実し、産後1年未満の方が母子で利用することができ、希望すれば乳房ケアを受けることができるようになっていきます。御意見参考にさせていただきます。

藤本委員	なし	承認	なし
宮崎委員	あり(下記)	承認	なし

【議題1についての御意見】

長期にわたるコロナ禍のなか、皆様の御苦労をお察し申し上げます。

今後よろしくお願ひいたします。

【議題1の御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

長引くコロナ禍のなかでも、感染防止に注意を払いつつ、保健福祉センターとして、きめ細かな地域保健サービスの提供に取り組んでまいりますので、今後とも連携をよろしくお願ひいたします。

西野委員	あり(下記)	承認	なし
------	--------	----	----

【議題1についての御意見】

1 上京区役所保健福祉センター事業と協働した広報啓発活動の実施
貴事業と協働した高齢者に対する犯罪被害抑止啓発活動及び交通教室の開催について御検討ください。

2 精神保健福祉事業の夜間対応窓口の設置
休日・夜間等に精神障害を有する者(アルコール依存症を含む)を取り扱った際に共同対応できる体制及び窓口設置(区役所連絡対応窓口)について御検討ください。

【議題1の御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

1 特殊詐欺をはじめとする高齢者に対する犯罪被害抑止啓発活動につきましては上京警察署、「世界一安心・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動」上京区推進協議会とも連携を深めながら保健福祉センターとしてもしっかりと取組を進めていきたいと考えております。また、依然、交通事故により尊い命を亡くされており、中でも子どもや高齢者といった歩行者、自転車の死亡事故が半数を占めていることから、よりいっそう交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を草の根レベルで呼びかけていく必要があると認識しており、保健福祉センターとして期待される役割を十分に果たしていきたいと考えております。

2 京都府、京都市では夜間休日に緊急に医療を必要とする精神障害者等に対応するために、府内全域を北部と南部に分けて二つの精神科救急医療圏域を設定し、それぞれに北部精神科救急医療システムと南部精神科救急医療システムを稼働させており、京都市地域については南部精神科救急医療システムで対応しております。

休日・夜間における精神障害者等への対応はこのように京都府と京都市とで構築されたシステムの中での対応となりますので、行政区単独での新たな体制の検討は難しいと言わざるを得ませんが、個々のケースに関してはこれまでと同様に連携できるところは可能な限り連携して取り組みたいと考えております。

千代田委員	なし	承認	なし
井筒委員	なし	承認	なし
赤井委員	あり（下記）	承認	なし

【議題1についての御意見】

「地域における健康づくり事業」2. 令和3年度実施状況 （2）会議などの実績に関して
 「中高年のひきこもり・8050問題」をめぐって上京民生児童委員会研修会が実施されています。当学区にて8月に孤独死された75歳の高齢女性が発見されました。この方は、普段から近所の方々とはお付き合いが少なく、昨年夫を亡くされてから家に引きこもりがちだったそうです。町会長が、学区社協の役員から「この方が最近見かけなくなって心配だ」との相談を受けて、訪問し、警察の応援を受けたことが発見の契機です。

今後二度とこのようなことが起きてはならないと、学区自治連・社協・関係団体が防止に向けて協議中。この防止対策として研修会をお願いしたい。

【議題1の御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

本件については、当該高齢者を最近見かけなくなったなどの異変を地域のみなさま方が敏感にキャッチされ、相談や連絡などといった見守り活動をする中でいち早く行動を起こされたものと認識しています。一方で、そうした見守り活動を行っていたみなさま方が、事情を知らない方から心ない言葉を投げつけられたりすることで傷ついたり落ち込んだりすることは、決してあってはならないことであると考えています。

今後とも、一人暮らし高齢者が増加する中、孤立を防止する地域ぐるみでの見守り活動はますます重要なものとなってまいります。保健福祉センターといたしましても、こうした活動にしっかりと支援ができますよう、引き続き努力してまいります。

立花委員	なし	承認	なし
金築委員	あり（下記）	承認	なし

【議題1についての御意見】

上京区民の幸せの基本は健康と福祉にあります。その中枢を預かるのは保健福祉センターであり、非常に大切な部署であります。その場のお手伝いをするのが地域保健推進協議会であります。その取組は有り難いことですが、少しずつ細くなり、複雑になってきたように感じられます。高齢化に伴い、頭の回転も悪くなり、若返りが必要かと思えます。そう言ったところから大学の街の京都ですので大学生の方々にお知恵を拝借するのもよい道かと思えます。それぞれの課題の箇所に参加していただければより一層増進すると思えます。

【議題1についての御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

議題1に御紹介のとおり、大学生が取り組んでいる「オレンジガーデニングプロジェクト」と協働したパネル展示や同志社大学寒梅館を活用した上京しっとこやっこ事業（令和2～3年度はコロナ対策のため映像制作に変更）などの取組を進めてまいりました。

御指摘のとおり、「大学のまち京都」として、引き続き、保健福祉センター事業において随所でお知恵やお力添えをいただけるよう努力してまいります。

四辻委員	あり（下記）	承認	なし
------	--------	----	----

【議題1についての御意見】

今まで会議に出席して、85歳以上の話がないが、85歳以上の人にもわかる話をしてください。

【議題1についての御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

京都市内の85歳以上の人口は増加傾向にあり、令和4年9月15日現在で78,526人、上京区内では4,596人の方がいらっしゃいます。御指摘いただいた御意見を参考に、85歳以上の方を意識した取組や、分かりやすい資料づくりに努めていきたいと考えています。

湯浅委員

あり（下記）

承認

あり（下記）

【議題1についての御意見】

高齢者に関する事業以外は知らなかった事が多く勉強になりました。今後の活動のヒントになればと思います。

【議題1についての御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

保健福祉センターの事業について広く知っていただき、大変心強く思います。

今後も、保健福祉センターの様々な取組をより多くの方に知っていただけるよう、資料づくりや広報等にも力を入れていきたいと考えています。

【その他御意見】

前回（7月）の老人福祉員代表者会議で話題になった地域介護予防推進センター長の資料の中の上京区の現状と課題で、上京区が要介護出現率全市一位という状態について色々と考えてみました。

- ① 他行政区の予防の取組が優れている
- ② 他行政区の申請の認定割合はどうか
- ③ 上京区は老人福祉員はじめ周りの目が届き、早い相談や早い気づきがあるのではないかなど思いついた事でした。

【その他御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

上京区の特徴として、要介護認定を受けている高齢者の割合が全市で1番高いことが挙げられます。これは高齢者人口（65歳以上）に占める後期高齢者人口（75歳以上）の割合が高いこと、1人暮らしの高齢者が多いことなどが要因と考えられています。

委員御指摘の老人福祉員をはじめ地域のみなさま方の「早い相談」「早い気づき」をメリットとして生かし、より一層のフレイル対策にしっかりと取り組んでまいります。

穴澤委員

あり（下記）

承認

あり（下記）

【議題1についての御意見】

保健福祉事業の報告をいただきありがとうございます。私はたまたまオープンダイアログのTV放映をみて感動しました。また、上京の民生委員会でその活動をしておられる方と出会い、対話（勉強会や討論会ではなく…）の大切さを知りました。

地道な取組になるとは思いますが、我々市民が主体となり、そのオープンダイアログ（対話）をベースに地域とつながり、無関心層の方々とも対話を重ねていくことが真の健康づくりにつながるのでは…。行政と専門家と我々市民がゆるやかに手をつなぎ笑顔があふれ人に優しい地域にしていきたいです。

【議題1についての御意見に対する見解】

御意見ありがとうございます。

児童母子保健福祉専門部会の研修会でオープンダイアログについてお話を聞き、「対話」の重要性を確認しましたので、まずは上京赤ちゃんお祝い訪問で活かすことができたらと思います。人と人がつながることは、健康づくりにおいても重要な要素であると考えます。上京において、いろいろなつながりが広がり、市民と行政・専門家もよいネットワークを作っていけたらと考えています。

【その他御意見】

お口の体操×かみぎゅうくんのうたがとても楽しそうです！！
ぜひ、DVD、CD等ありましたら、購入させていただき体操教室に取り入れたいと思います。
よろしくお願いします。

【その他御意見に対する見解】

「かみぎゅうくんのうた」は同志社大学生が授業の一環で作成した歌で、区役所では、令和3年度にこの歌に合わせた「お口の体操」を考案し、リーフレットを作成しました。
令和4年度はリーフレットを基に動画DVDを制作し、「お口の体操」の普及啓発をしていく予定です。このDVDは、オーラルフレイル対策（高齢者の誤嚥性肺炎を予防、介護度を進めないこと）として、地域での健康づくりに寄与するツールですので、多くの区民の方に利用していただけるようお貸しさせていただくことを考えております。ぜひ地域で利用していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

江ノ畑委員	なし	承認	なし
-------	----	----	----